



就任のご挨拶



福岡大学西新病院
病院長

みうら しんいちろう
三浦 伸一郎

福岡大学西新病院は、平成30年4月1日に石倉宏恭先生を病院長として、福岡大学が福岡市医師会より福岡市医師会成人病センターを事業譲受し開院いたしました。私は、その後を引き継ぎ、令和1年12月1日より病院長を拝命いたしました。

福岡大学は、地域医療に貢献すべく、3つの病院「福岡大学病院」、「福岡大学筑紫病院」、「福岡大学西新病院」を開設し、「患者さん中心の寄り添うあたたかい医療」を展開しております。また、西新病院の前身である成人病センターは、長く福岡市の地域医療を支えてきました。現在もこの成人病センターの精神を継承し、地域と密に連携を取った病院としての機能の継続に職員一同、取り組んでおります。

西新病院は、「地域に信頼される医療の提供」を基本理念とし、地域の医療機関からの紹介患者さんを速やかに受け入れるように心がけております。また、この病院の特徴を活かして福岡大学病院などの高度専門医療機関との密な連携により、地域医療と高度医療とを橋渡しできる新しい形の地域医療連携を可能にできる病院を目指しています。

診療科目は、内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、脳神経内科、小児科です。内科系診療科は、一般内科のみならず、それぞれの領域の専門医師が開業医の先生方からの検査や入院のご依頼に迅速に対応し、小児科は、ご紹介いただいた入院依頼の患者さんを受け入れております。また、以前より実施しております健診も継続させていただいております。

最近の医療側におけるキーワードは、「多職種協働」や「チーム医療」です。西新病院でも医師、看護師、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー、医療事務といったメディカルスタッフによる「多職種協働」により患者さんの検査・治療に従事しております。さらに、感染対策、医療安全、栄養サポートなどの面では「チーム医療」を展開しております。

令和2年の西新病院は、今後も地域医療のニーズにこたえる発展的改革を実現する所存ですので、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



基本理念

「地域に信頼される医療の提供」

私たちは、地域の皆様のかげがえのない健康を守るための医療を提供します

基本方針

- (1) 断らない医療の推進
- (2) 地域医療連携の推進
- (3) 質の高いチーム医療の提供
- (4) 先進的な医療の提供と創造的な医療への取り組み
- (5) 健康寿命維持のための健診事業の推進
- (6) 安心・安全な医療の提供
- (7) 地域に貢献できる医療従事者の育成



● ノロウイルス感染症、知ってるつもり!? ●

ノロウイルス感染症はメディアでも取り上げられることが多く、よく耳にする言葉であるとは思いますが、実際どのようなものなのでしょうか？

ノロウイルスは乳幼児から高齢者までの幅広い年齢層に急性胃腸炎を引き起こすウイルスであり、年間を通して発生しますがインフルエンザと並び主に冬場に多く、11月頃から流行が始まり2月ぐらまでよくみられ、学校などで集団発生を引き起こすことが知られています。また、長期免疫が成立しないため何度もかかることがあります。そして、主に経口感染であり、食品としてはノロウイルスに汚染された二枚貝(特にカキ)などが知られています。ノロウイルスの増殖は人の腸管内のみですが、乾燥や熱にも強いので自然環境下でも長期間生存が可能です。

他のウイルス、病原菌と比較しても感染力が非常に強く、少量のウイルス(10~100個)でも腸炎を発症し、腹痛・頻回の水様性下痢・嘔気・嘔吐などの症状を引き起こします。発症までの潜伏期間は12~48時間であり、診断方法として便検査があります。しかし、この検査は3歳未満と65歳以上しか保険適応がありません。さらに、ウイルスのため特効薬はなく、対症療法(安静、水分摂取、整腸剤、解熱剤など)となります。

軽症が多く、発症後、通常であれば自分の免疫により1-2日程度で症状は改善しますが重症化する例もあります。また、下痢を薬で止めることは逆効果であり、ウイルスが腸管内にとどまるため回復が遅れる要因になりますので注意しましょう。

嘔吐物、便には大量にウイルスが含まれており、特に患者さんが使用した後のトイレは危険性が高いです。感染の拡大を防止するため、接触時には石鹸を使用し流水で十分な手洗いを行い、トイレの便座周囲、床、ドアノブなどを殺菌剤(アルコールは無効。次亜塩素酸のみ有効)で拭き取りましょう。また、ウイルスが乾燥した後、空気中に舞い上がり壁にも付着している可能性があり、注意が必要です。殺菌剤は商品化されたものもありますが、塩素系漂白剤を水で薄めて自分で作ることも可能です(原液4ccを1000ccの水で溶解すると0.02%塩素系漂白剤調製液になります)。特に家庭内では感染が広がる可能性が高いため、二次感染の予防が重要です。小児、高齢者では嘔吐、下痢、食欲低下に伴い脱水状態を引き起こしやすく、重症化するケースもありますので嘔気、嘔吐で水分摂取もできない場合は早めに医療機関を受診し、点滴等の治療を受けましょう。

消化器内科 山口 真三志



MRI 検査のご案内



福岡大学西新病院で導入しているMRIの検査機器は、シーメンス社の「MAGNETOM Aera 1.5T」で、開放的な検査環境となっており、閉所恐怖症の方でも安心して検査を受けて頂けるよう工夫されています。

MRIとは (Magnetic Resonance Imaging:磁気共鳴画像)の略称です。強力な磁場と電波を利用して体内の状態を撮影する検査です。

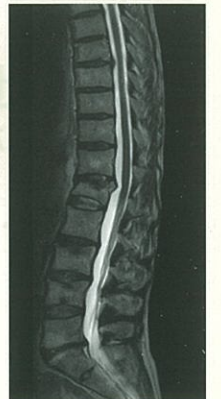
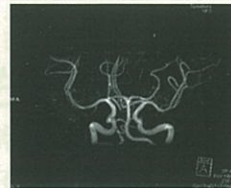
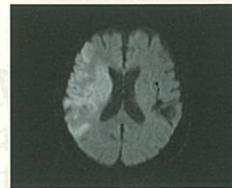
姿勢を変えることなく、あらゆる角度から体のいろいろな部分の断面像を得ることができます。また、放射線を使わないので、被曝の心配はありません。

検査部位は頭部、腹部、脊椎、四肢、様々です。

頭部検査では脳梗塞、脳出血、脳腫瘍などの病変や造

影剤を使わずに頭蓋内の血管の状態を把握できるMRAがあります。

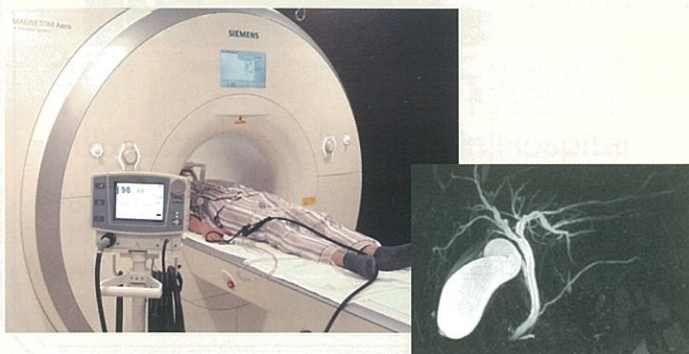
腹部では造影剤を使わずに膵臓や胆嚢の状態を調べるMRCP等があります。MRCP(MR胆管膵管撮影)とは、MRI装置を用いて胆嚢や胆管、膵管を同時に描出する検査です。放射線や造影剤を使用しないため、身体に大きな負担なく検査を受けられます。



脊椎では脊柱管狭窄症・椎間板ヘルニア・骨折などが対象となります。

また「物忘れ」を早期発見し、適切な治療につなげられるように、MRIによるVSRAD(早期アルツハイマー型認知症診断支援システム)などを用いた画像検査を実施しており、専門医の診察により総合的な診断が可能となっております。

放射線科 古藤 俊幸





物忘れ外来を実施しています



福岡大学西新病院では、福岡大学病院神経内科の医師により2019年4月から『物忘れ外来』を開設しています。

『最近忘れっぽくなったなあ』と感じることはありませんか？

具体的には・・・

こんなことを感じていませんか？

- ・最近ものやヒトの名前が思い出せない
- ・物をしまった場所を思い出せない

まわりにこんな方いませんか？

- ・同じことを何度も言ったり、尋ねたりする
- ・薬の管理が難しくなった
- ・以前より怒りっぽくなった

それは、認知症の初期段階かもしれません。

しかし、認知症の進行は適切な治療を行うことで進行を

抑えることができます。

その為にも早期発見・早期治療が重要になります。

ご自分やまわりの方で気になった方がおられましたら、お気軽にお尋ねください。

～ 物忘れ外来 ～

- 診療日：毎週第2・4月曜日
- 診療時間：14:00～17:00
- 受付時間：14:00～16:30
- 診療科：脳神経内科専門医
- 担当医師：合馬 慎二、西田 明弘



栄養管理科からのおすすめレシピ

「ビーフシチュー」

ウスターソース・ケチャップなど塩分含量が少ない調味料を利用することで、減塩できます。

塩分を控えることで血圧低下・安定効果があります。ローリエなどの香辛料の風味を生かし、上手に減塩しましょう。

● 材料(2人分)

牛肉	50g×2人分
塩・こしょう	少々
玉葱	80g(小1個)
じゃが芋	60g(小1個)
水	250ml(1と1/4カップ)
コンソメ	小さじ1/3強
パセリ	少々
ローリエ	1枚

【調味料A】

バター	20g
赤ワイン	90ml(1/2カップ強)
ウスターソース	大さじ4と1/2
ケチャップ	大さじ3

● 作り方

- ① 牛肉に塩・こしょうをふる。
- ② 鍋を中火で熱し、牛肉を入れてさっと焼く。
- ③ じゃが芋は皮をむいて大きめの乱切りにする。人参は皮をむいて、厚さ1.5cmの半月切りにする。玉葱は一口大に切る。
- ④ ②に③を入れて軽く炒め、水・コンソメ・ローリエを入れて煮立ったらあくをとり、30分程野菜が柔らかくなるまで煮る。
- ⑤ 調味料Aを加えて、15分程煮て、できあがり。



合計(1人当たり)

エネルギー：253kcal
塩分：2.2g

1日の食塩摂取目標量は男性で8g未満、女性で7g未満です。

管理栄養士 松崎 景子